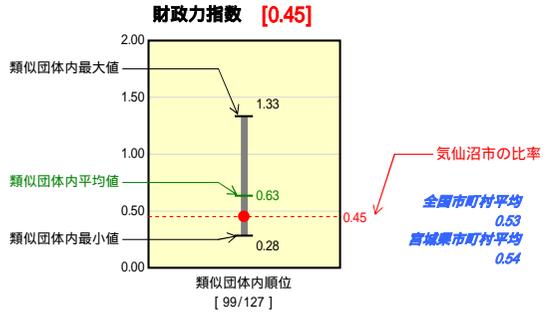


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

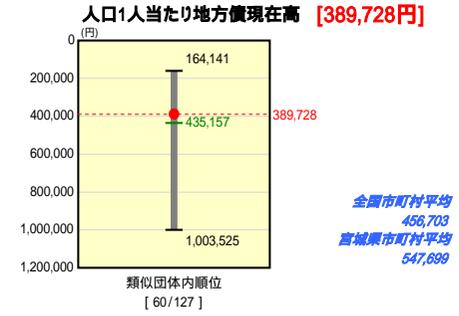
宮城県 気仙沼市

人口	66,111	人(H19.3.31現在)
面積	226.67	km ²
歳入総額	21,346,506	千円
歳出総額	21,006,786	千円
実質収支	309,051	千円

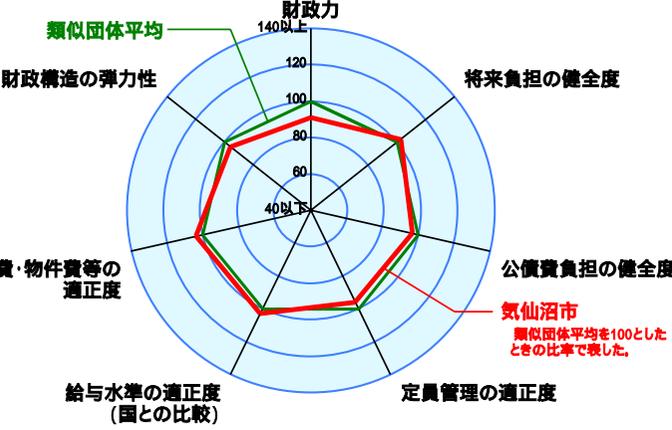
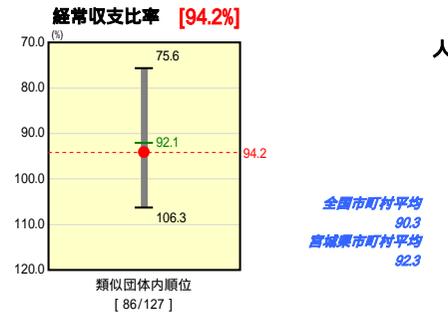
財政力



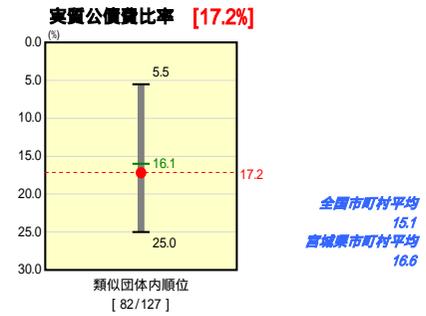
将来負担の健全度



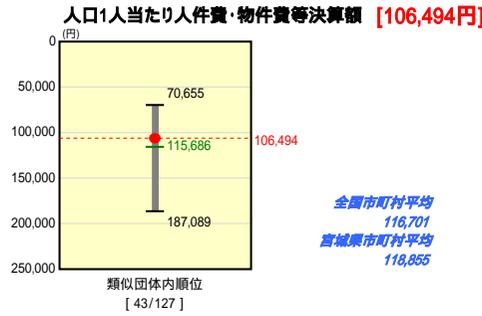
財政構造の弾力性



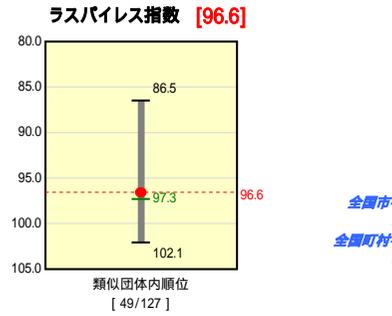
公債費負担の健全度



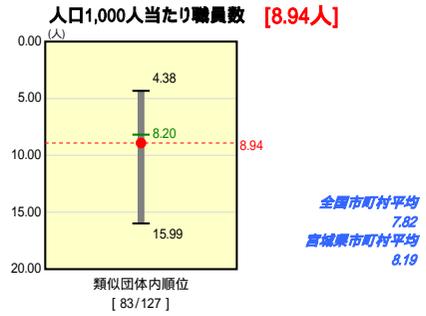
人件費・物件費等の適正度



給与水準の適正度 (国との比較)



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数: 長引く景気低迷による市税の減少等から0.45と類似団体平均(0.63)を下回っている。平成18年3月31日に旧気仙沼市と旧唐桑町が合併した効果を最大限高めるため、職員数の削減や事務事業の見直しをはじめ、市税の収納率向上対策等により歳入の削減・歳入の確保に努める。

経常収支比率: 人件費・扶助費・公債費の義務的経費の割合が高いため94.2%と類似団体平均(92.1%)を上回っている。集中改革プラン及び財政健全化計画に基づき、職員数の削減や施設運営管理の民間委託、各種補助金の見直し等により経常経費の抑制を図る。

ラスパイレズ指数: 類似団体平均より下回っている。

実質公債費比率: これまでの起債抑制策により着実に公債費は減少しているが、類似団体平均を1.1%上回っている。起債対象事業の厳選など、起債に大きく依存することのないような財政運営に努める。

人口1人当たり地方債残高: 近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後は合併特例債活用事業が予定されているので、他の地方債の抑制等により類似団体平均を上回ることがないよう努める。

人口1,000人当たり職員数: 平成18年3月31日に1市1町が合併したことにより類似団体平均(8.20人)を0.74人上回り8.94人となっている。合併効果を最大限高めるため、集中改革プラン及び財政健全化計画に基づき、職員数の削減(5年間で約10%減)により、適切な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均に比べ低くなっているのは、市町村合併の効果が現れてきていることによる。なお、今後も、施設の維持管理業務の指定管理者制度導入や、ゴミ収集業務の民間委託など、人件費・物件費のコスト軽減を図っていく方針である。